

研修だより



世羅町立せらひがし小学校
研修だより 第4号
令和元年6月5日

田坂先生の提案性のある研究授業のお陰で、せらひがしっ子の課題が見えてきたと思います。今年度せらひがしっ子につけたい資質・能力の「表現力」の部分をしっかり伸ばしていくことができるように、日々の授業改善をしていきましょう。田坂先生、ありがとうございました。



1 授業評価表より (%)

授業内容についての評価					
	質問内容	よい	まあまあよい	あまりよくない	よくない
①	導入段階において、児童が能動的に学ぶことができるような課題設定の工夫をしていたか。	90	10	0	0
②	めあてとまとめが一体化していたか。	20	40	40	0
③	ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた支援を行っていたか。(視覚化, 共有化, 焦点化等)	30	40	30	0
④	「数学的な見方・考え方」を育成する発問や場面設定であったか。	0	100	0	0
⑤	「ふりかえり」の場面を設定し、「学び方」を学ぶふりかえりができてきたか。	0	0	100	0
⑥	ねらいは達成できたか。	0	83	17	0

児童についての評価					
	質問内容	よい	まあまあよい	あまりよくない	よくない
①	主体的に学習に参加していた。	70	30	0	0
②	目的に応じて適切に自分の考えを表現しようとしていた。(発言, 書く活動など)	10	50	40	0
③	学び合いの場面で他の児童とのかかわりをもった発言をしていた。(つなぎ発言や質問, 反論など)	10	50	40	0

※今回は、時間が足りずまとめまで見ることができなかった先生方が多く、無回答のものも多くあったので、無回答の項目はカウントしていません。

2 指導講話より

- ・導入段階において、教材提示の仕方を工夫する。
- ・自力解決の前に、見通しを持たせる。
→「既習事項を使って考えることができる」というイメージを持たせる。
- ・選択肢を与えるという「しかけ」
→本時のねらいに焦点化する。
- ・ワークシートを吟味する。
→子供に何を考えさせたいか。※ワークシートはノートに貼る。

説明する場面

- ・説明する場を多く設ける。
- ・「どうして」の一押しをする。
- ・図を指しながら説明をする
→図と式を対応させることが大切。
- ・相手意識を持った発表をさせる。
→説明する側と聞く側相互の関わりを大切にすることで、対話的な学びへ。

指導案について

- ・単元観→どういう力を付けたいかを明記する。
- ・児童観→既習事項について詳しく明記する。
(レディネステストは内容面を分析する。)

<今後の取り組み>



- ★説明する場面では、「相手意識を持った」発表を意識させる。
→聞く側には、聞く指導をする。
 - ・身体の向き。(わざと教師が教室の後ろに行く etc.)
 - ・結論先行型で、一文を短く。
 - ・一人一人が聞いているかを確認めながら説明をさせる。

★指導案について

指導案が完成してから直すのは大変です。単元が決まったら、本時をどのような流れにするかを一緒に検討しましょう。また、本時までの部分が完成したら、その都度出していただけると助かります。よろしくお願いします。

※授業評価表は、できれば授業研究があった週のうちに提出していただくと、研修のまとめを早くすることができます。よろしくお願いします。